

6班 ワークショップ内容

(1) 班内各意見の背景の確認

- ・「地域」のイメージについて意見交換をした。

ホワイトボード板書

- ・レクリエーションをするぐらいの単位
祭りをするぐらいの単位
- ・家族より一段大きなもの
町内会、学校など これら一つひとつについても...
 - ・規模に差がある (ひとつのものさしとしてはムズカシイ)
 - ・中身に差がある (隣組と団地では違う) 基礎がちがう
↳顔の見える範囲
- ・ごみ集積所など、意外なところがコミュニティの場になりうる

- ・自分を中心としてのまちづくりとなっているのが現状
- ・みんなに関心を持たせるのが難しい
みんなの関心を継続させるのが難しい
↑
 - ・強制するのはダメ
 - ・成功させるのが目的となってもダメ
- ・何か一つきっかけがあったり、目的に共鳴できれば
- ・個々の単位がしっかりしすぎて、全体としての統一が難しい
↳・無理に統一する必要はない
 - ・多様な単位があってよい

人と人とのつながりが大切

発表内容

- ・「人」 「人と人とのつながり」が一番大切ではないか。
- ・それぞれの地域にいろいろな資源があり、その地域資源を活かして、人との結びつきを深めていくことが一番大切である。
- ・趣味の繋がりであれば有意義な過ごし方が出来るが、上からの強制的な部分での繋がりにはなかなか長続きしない。
- ・検討の中で雑談的な部分でいろいろ話があったが、6班の考えとしては、まず「人の繋がり」、それから「歴史・文化を活かした地域資源と人との繋がり」という話がされた。
- ・「コミュニティ」についても、「人と人との繋がり」が非常に大切ではないか。

(2) 班としてのカテゴリーの決定

- ・前回挙げたものをそのままカテゴリーとする。

平等 地域資源・歴史・文化 人 住民のニーズ 情報 協働 約束
評価